

議案に関する委員会審査

各委員会では、委員会に付託された議案を審議しました。

総務委員会

【令和8年度鯖江市一般会計補正予算(第1号)】 ■危険な空き家を解体(市が対応)

【説明】倒壊のおそれがある空き家2件を行政代執行で解体する。費用は一部を所有者から回収し、残りは市の負担とし、国・県の補助金を活用する。

【問】費用が一般的な解体に比べ高額では。

【答】老朽化による分別困難や手作業対応、内部状況不明等により費用が増加している。実施時の再算定により、費用の圧縮を見込んでいる。

【問】費用回収や通知はどのように行うのか。

【答】預金や給与の差押えなどで回収する。重要な通知は書留や直接交付により確実に送達する。

【問】市による対応で住民や所有者の管理責任意識が薄れないか。

【答】事前の相談や交渉などを通して、空き家の利活用や解体に向けた対策を進めていきたい。

【令和8年度鯖江市一般会計補正予算(第1号)】 ■地域の公民館や遊具の整備を支援

【説明】宝くじ財源を活用し、下氏家町と川島町に各160万円を助成する。公民館のエアコンや発電機、広場の遊具などを整備する。

【問】遊具の安全管理や工事費の妥当性、助成事業に対する区長への助言はどうなっているか。

【答】安全な設置と適切な利用の周知に努める。費用は各町内で精査されており、事業内容も問い合わせに応じて詳細に説明している。

【鯖江市税条例の一部改正について】 ■市の税のしくみを見直し

【説明】法改正に合わせて、住民税や固定資産税の見直し、軽自動車税の制度変更などを行う。

【問】市の収入にどのような影響があるのか。

【答】一部減収となるが、交付金や交付税により一定程度補われる見込みである。



産業建設委員会

【令和8年度鯖江市一般会計補正予算(第1号)】 ■三床山登山者用トイレの整備

【説明】三床山の登山口近くの駐車場に、登山者用トイレを整備する。規模は既存の登山口トイレと同程度とし、男女別トイレを設ける。清掃や点検、消耗品の補充は地元が担い、水道代や電気代は市が負担する。

【問】トイレ整備をきっかけに、地域全体の活性化につなげる考えはあるか。

【答】シェアサイクルを活用し観光地間の移動手段を確保することで、点在する観光拠点をつなぎ、市内を回遊できる面的な広がりを目指す。



【除雪事故に係る損害賠償額の決定および和解について】 ■除雪中の事故の弁償を行う

【説明】市職員による除雪作業中、積雪により道路境界の判別が難しい中で民有地のグレーチングなどを破損したため、損害賠償を行い和解する。

【問】市の除雪はどのような体制で実施しているか。

【答】4班体制の当番制で除雪を行い、土木課職員はパトロールや情報収集、指示・調整を担い、土木課以外の職員が重機オペレーターとして従事する。

【説明】路線に不慣れな職員も関わるため、事故防止のため、雪で見えにくくなる場所に目印を付けるなど、市民への協力依頼を強化すべきでは。

【答】広報や町内回覧で周知しており、今後も継続して呼びかけを行い事故防止に努める。



教育民生委員会

【財産の取得について】 ■GIGAスクール端末の整備

【説明】小中学校で使うタブレット端末(6,366台)を更新する。国・県の補助制度を活用し、リースではなく購入により整備する。

【問】保守や補償の内容は。

【答】故障時は予備機で対応し、保守は別途契約とする。保守費を含めても県の補助制度により市の負担は軽減される。



嚮陽会館複合交流施設整備 特別委員会

【嚮陽会館駐車場整備工事請負契約の締結について】 ■駐車場の整備工事を進める

【問】駐車場整備後、本体工事の工事車両の出入りによって、完成した駐車場が損傷する心配はないか。

【答】本体と駐車場の工事区域は離れており、大型車両の乗り入れはないため、損傷は想定していない。

【問】嚮陽会館前駐車場とふれあい広場駐車場の整備の順番や整備に当たっての市民への周知は。

【答】嚮陽会館前駐車場から先に整備する。工程決定後は、区長と調整しながら近隣住民や市民に広報・ホームページを活用して周知していく。

【問】令和10年のイベント時期までに供用開始されることで間違いはないか。

【答】令和10年2月末の完成を目指しつつ、工事中もできるだけ駐車スペースを確保できるよう工夫して進めたい。



【令和8年度鯖江市一般会計補正予算(第1号)】 ■市民プール東側に多目的コートを整備

【説明】市民プールの東側に、多目的コートを整備する。スケートボードやBMX、バスケットボール等の利用を想定し、通路やフェンスも整備する。夜間の無断使用による騒音対策として門扉も設ける。

【問】一部への遮音フェンスの設置について。

【答】コート北側は住宅地に近接しているため、騒音防止として遮音フェンスを設置する。相談があれば適宜対応していきたい。

【問】スケートボードやBMX利用者のために競技で使われるような斜面等は設置しないのか。

【答】多くの人が気軽に利用でき、多様な使い方ができる場所とするため、特定競技に特化した設備は考えていない。

■再入札に向けて建築工事の設計金額を増額

【説明】嚮陽会館複合交流施設整備について、入札の結果、建築工事が不調となったため再入札を行う。仕様や単価を見直して、設計金額を初回入札時よりも1億340万円増額し、20億3,170万円とする。

〈入札価格と仕様見直しへの疑問〉

設計金額と入札価格の乖離の要因や、仕様変更の影響、再入札でも不調となる可能性について質疑

〈事業費と社会情勢の影響〉

資材費や人件費の高騰など、社会情勢の変化による事業費への影響について質疑

〈今後の事業リスクと運営〉

事業費の増大リスクや工期への影響、整備後の運営方法や経費について意見

〈再入札と設計の妥当性〉

再入札の成立見込みや競争性、設計内容や見積りの妥当性について指摘

【答】仕様の見直しや最新の市場単価や業界動向を踏まえた単価の再設定、同等品条件の緩和によって、価格乖離の解消を図った。また、今回の仕様見直しは、施設自体の機能低下や耐用年数の短縮を伴うものではない。今後も社会情勢の変化に的確に対応しながら、事業費の抑制に努める。